

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

up

'98
新春 号【1、2月合併号】

あなたの知的好奇心を満たす
かわさき市民アカデミーの会員募集



いまを話す

演奏家と交友 “音楽のまち”へ尽力
河合 由里子さん
地域にとっしり みやまえロビコン
日本フィルの顔も協力

Stage Up **新春** 号もくじ/1998年

■ほんねインタビュー いまを話す

演奏家と交友 “音楽のまち”へ尽力 河合由里子さん

地域にどっしり みやまえロビコン

日本フィルの顔も協力

■はりきってます グループ紹介

四季の花、果物を表現する

パステル画研究会(麻生区)

心に響くハーモニーの

津田山福寿会コーラス部(高津区)

●学習・文化情報

□ミニニュース

◆かわさき市民アカデミー会員募集

□編集後記

◇表紙絵……「早春の多摩丘陵」

清水幹子さん

(小誌は再生紙を使用しています)

初めてふれる
ワークショップ講座Ⅲ

受講者募集

- 〈実施期間〉 3月10日(火)～12日(木)
- 〈時間〉 10時～16時
- 〈会場〉 市教育文化会館学習室
(川崎駅から徒歩15分、バスあり)
- 〈対象〉 市内在住・在勤・在学の方
- 〈受講料〉 9,000円
- 〈教材費〉 1,500円
- 〈定員〉 30人(抽選)
- 〈使用機種〉 NEC PC 9801 DX-U

★申し込みは、2月20日(金)～27日(金)9時～17時に ☎(233)6250の当事業団川崎分室へ電話で(月曜休み)

消費生活アドバイザー
資格取得支援講座

受講者募集

- 〈日時〉 4月2日～11月12日の木曜
13時半～16時、全24回
- 〈会場〉 市生涯学習振興事業団
(小田急線新百合ヶ丘駅下車)
- 〈受講料〉 30,000円
- 〈教材費〉 31,000円
(産能大通信講座テキスト)
- 〈定員〉 50人(抽選)

★申し込みは、3月3日(火)～5日(木)10時～17時に ☎(952)5000の市生涯学習振興事業団へ電話で

いまを話す

ゲスト

演奏家と交友「音楽のまち」へ尽力

河合由里子 さん

Vol.61



地域にとっしり みやまえロボコン

日本フィルの顔も協力

日本フィルのコンサートマスター・木野雅之、N響のヴィオラ奏者・銅銀久弥、小澤征爾指揮のサイトウキネンフェスティバルオーケストラのヴィオラ奏者・松実健太。こう名を連ねると、どんな演奏会を連想するだろうか。昨年十一月、五十回目になった「みやまえロビーコンサート」の出演者である。延べ六千人が足を運んだ。その「仕掛人」が河合由里子さん。お堅くいうと「ホンモノの音楽をだれでも気軽に聴ける」区政推進事業の協力者。区役所ロビーでの演奏は、雑音も入れば人も動く。「地域に根差した質の高い音楽会」を支えているものはなにか?十分なギャラ、でないことだけは確か。インタビューは麻生区在住のピアノ教師、丸山博子さん。

——河合さんが長い間手掛けてこられた宮前区役所での「みやまえロビーコンサート」を先日、聴かせていただきました。平日のお昼でしたが、百人を超す市民の方々が、本当に楽しそうに聴いていました。あの日のロビーコンサートで五十回目を迎えられたそうですね。おめでとうございます。

河合さん ありがとうございます。ロビーコンサートが始まりましてから約四年になります。みなさんとても喜んでくださって、五十回皆勤という方もいらっしゃる

——今までにどんな楽器が登場しましたか。

河合さん ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、マリンバはおなじみの楽器ですが、それに中国の洋琴、南ドイツやオーストリアの民俗弦楽器のチター、ウクレレでクラシックを弾いた方もいらっしゃいましたね。また、五十回目のコンサートに出演されたヴォーカル・クワルテットの「アンサンブル・サウルス」のみなさんは、毎年、クリスマスのあるところに参加して下さるので、市民のみなさんもこの方たちと一緒に歌うことを楽しみにしていらつしやいます。

——一緒に歌うとまた気分が違いますね。これまでにどんな方が出演されたのですか。

河合さん 日本フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターの木野雅之さん(ヴァイオリン)とか、NHK交響楽団の銅銀久弥さん(ヴィオラ)なども出て下さっているんです。海外からは、イギリスのBBC放送交響楽団のメンバーも参加して下さいました。

——すごいですね。河合さんの交友関係の広さがわかります。毎

小騒音に負けぬ本物の音楽 自由に楽しむ30分

第50回「みやまえロビーコンサート」を楽しむ市民。左はアンサンブル・サウルス（昨年11月13日写す）



回、平日にもかかわらず、始まる一時間以上前から集まって来て待つていらつしやる。ただ、ロビーコンサートですから、演奏する場は人の出入りもあるわけですね。いろいろな雑音がある中で演奏になるわけですが、演奏者に抵抗はないんでしょうか。

河合さん ロビーコンサートと
いいますと、東京駅の「駅コン」
などがありますけれど、人の出入り
はもちろんですし、宮前区の場合
はすぐそばに銀行のキャッシュ
サービスのコーナーがあるので、
その自動ドアの音が入ります。
レストランの食器の音もします。

ですから、あらかじめ演奏者には了解を得て出演してもらっているんです。

——そうでしたか。通りすがりの方たちは、歩く音が響かないように気を配っていますね。また、小さなお子さんをベビーカーに乗せた若いお母さんが、まわりに迷惑がからないように出口のそばに立っていらして「ちよつとでもこの子に聴かせたいんです」と……私、感激しました。そういう姿を見ますと、だれもが聴ける、だれもが受け入れてもらえる音楽会がここにあるんだ。ここに来れば、本物の音楽が聴けるんだということと、私もみなさんと一緒に楽しい時間を過ごし、心がほつとしました。

河合さん たった三十分の演奏会ですが、そういうお気持ちで帰って下さると私ももううれしいんです。でも、その一方で「もつと静かに聴けるようにしたほうがいい」とか、いろいろなご意見もあります。宮前区の区政推進の考え方と私たちの思いとしましては、コンサート会場ではないので、何の規制もない中で緊張せず、自由に楽しんでもらうということな

んです。

——そういう考え方が、今日まで長く続いた秘訣（ひつえき）かもしれませんね。着実に地域に根付いたコンサートという感じがします。ところで、河合さんがロビーコンサートにかかわられたきっかけは。

河合さん 最初の二回は、宮前区の文化協会の方が出演なさいました。その後、区の方からこのコンサートについてのご相談を受けまして……。それから、ずつと一緒に企画をさせていただいております。お陰様で、私の交友関係も広がりました。

——特に印象に残っていることは、どんなことですか。

河合さん イギリスのコンクールで受賞した松実健太さんは、帰国後、日本でのいちばん最初の演奏活動が、みやまえロビーコンサートだったんです。あれから、たった三年くらいですけれど、一流の方たちと共演して大活躍です。

編集チーム注・松実さんは94年、イギリスのターンブリッジウエルズ国際コンクールの弦楽部門でヴィオラ奏者として初めて優勝するなど多くのコンクールで受賞。96年には小澤征爾さん指揮の「サイ

広がる音楽家との輪 ロビコン契機に

仲間と慈善演奏会も

チャリティー・コンサート

トウキネンフエスティバルオーケストラ」に出演。

「うれしいことですね。若い演奏家たちにとつても、演奏の機会が多ければ多いほど磨きがかかりますし、聴かれた方たちも、いつか「ああ、あの時の……」とその成長ぶりを楽しみにできますからね。

河合さん みやまエロビーコンサートが契機となって、思いがけない人とのつながりで輪が広がっていくんです。

「思いがけない輪の広がりとおっしゃいましたが……」

河合さん 横山幸雄さんもそう



です。

九〇年のシヨパンコンクール(ピアノ)で、邦人最年少入賞

(三位)の横山さんのことですか。

河合さん コンクール入賞後の

横山さんが、九五年秋のロビーコ

ンサート出演者のコンサート「み

やまエふれあいフェスタ」にデス

ト出演しました。この日は台風で

お客さんがパラパラでしたが、横

山さんは嫌な顔をしないで、精い

っぱい弾いてくれました。私、ホ

ンモノの芸術家はどのような悪条

件でも、お客さんが一人でもベス

トを尽くすことを教えられました。

「ところで、九七年十二月初

旬に宮前市民館大ホールで「宮前

区に生活ホーム設立の支援チャリ

ティーコンサート」がありました

が、この「生活ホーム」について

お聞かせください。

河合さん 知的障害者、精神障
害者、身体障害者の方たちには、
作業をする場は何カ所があるんで

すが、寝起きをして生活する場と
いうのがあまりありません。特に
精神障害の方たちの場合、宮前区
には有馬に一カ所しかないんです。
ご両親が高齢になられて面倒が見
られないとか、退院後、家庭では
生活ができない人たちがいますの
で、そういう人達が生活できる
「生活ホーム」をもっと造りたい
ということなんです。

主催は「宮前区の精神保健



丸山博子さん

と福祉を考える会」で、河合さん
はその会の副会長ですね。

河合さん そうです。いろいろ

な方がメンバーになっていまして、

会長は聖マリアンナ医科大学学長

の長谷川和夫先生です。事務局長

には東横第三病院のケースワカ

ーの方です。また、宮前区の保健

所の方や作業所の方たちなどが

河合 由里子 さん

かわい・ゆりこ=東京都杉並区生まれ。1967年、立教大学文学部を卒業。その後、服飾美術、デザイン、幼児教育を学び、幼稚園教諭の資格取得。74年、宮前区に鷺沼ミュージックセンターを設立し演奏指導。90年から宮前区文化協会洋楽部会理事。この間にロンドンアンサブルのマネージメントや障害者の自立のためのチャリティーコンサートを毎年、企画して開く。また、川崎の若手音楽家の育成にも尽力。現在、サウンド&ミュージッククリエーション代表。宮前区野川に在住。夫と2人の息子の4人家族。

かわっています。さらに女性グル
ープ「小さな風」のみなさんが全
面的に協力して下さっています。

大きな組織なんですか。

河合さん 二十数人の組織で、

みなさん、あまりご存知ないので、

これを機会に会のこと、生活ホー

ムのことも知っていただきたいと

思っって企画しました。

会場には、たくさんの障害者の方もいらしてましたけれど、演奏者の理解はいかがでしたか。

河合さん 私の場合、たまたま

音楽のことに長く携わってきたので、コンサートの企画をする



共生 お互いが感動を とは？ 与えあう存在に

んですが、いつも同じスタイルのコンサートということではありません。障害をもった人がコンサートに行くのは大変で、家族の方たちもいろいろなことを心配なさいます。ですから、一つには、障害のある方だけに聴いていただくコ

ンサートを聞いています。また、今回のようなチャリティコンサートの場合、両方の方に聴いていただくようにしています。そういう時は、必ず出演者にも他の参加者にもまずご紹介をさせていた

——大切なことですね。

河合さん ええ。そうすることで、たいてい理解が得られます。普段の生活の中で、障害のある方たちと接する機会がありませんとコンサートで突然、一緒になって戸惑ってしまうのは当然です。しかし、知的障害、精神障害の方たちというのは、とつても素直です。感動すると大きな声を出したり、体を揺すったりして全身で喜びを表現するわけです。びっくりする方もいますが、演奏者は素直に「感動して下さった」と受け取っています。

——以前、この「いまを話す」のゲストで登場した瀬崎竜彦君は、

知的障害者ですが、天才的な書家です。彼の作品展で、私の息子がチェロの演奏をしたのですが、帰宅して「お母さん、今日は生きている芸術をもらった」というんです。最初、どういう意味なのか分からなかったのですが「自分は与えられた芸術を学んできたが、瀬崎君は、地から盛り上がった芸術を持っていた。それをもらった気持ち」という意味です。それを聞



いて、人の生きざまというのは、ご本人に接しないと分からない。共生するということは、お互いが感動を与えあえる存在であるということだと思いました。

河合さん その通りだと思います。私自身、障害のある人たちからたくさんの温かい気持ちを感じ、一緒にいると自分の表情が和んでいくのが分かります。

——私、同じ演奏家の演奏でも、

チャリティコンサートの方が生き生きしていると感じた経験があります。でも、演奏家の方もいろいろですから、敏感な障害者の方たちが拒否反応を起こすようなことはありませんか。

河合さん 一般論としてはありますね。ですから、私は出演者を選ぶ際、表情が穏やかで障害のある人たちに理解のある方にします。そういう演奏者のほうが、コンサートで音の響きや雰囲気がいいものが出てきますから。

——私は中学、高校でボランティアに参加して、人形劇をやっていたんですが、そのころは「やってあげる」という気持ちでした。思い出しても恥ずかしいことですが、初公演のとき、全盲の子が喜んで、手探りで走り寄ってきて抱きついてきたんです。そのとき、私は思わず逃げてしまつたんです。その当時より今は、ボランティアが盛んになっていますが、普段接したこともない人たちが、傲慢な意識でボランティア活動に参加している例もあるように思いますが。

河合さん 実は、かつて私もある団体に所属して、ボランティア活動をしていたことがあるんです。

今おっしゃったことと同じことを感じてやめました。私は、地元で小さくても自分にできる範囲と時間を使って、気持ちよく、仲よく楽しく、障害のある人たちとかかわって、一緒にいい音楽が聴けたらいいな、と考えてきました。それだけなんです。

——だからでしょうか。河合さんを見て、ちっとも無理がないというんでしょうか、とても自



然なんです。何の気負いもなく続けてこられたように感じます。

河合さん そう感じていただけるとは幸いです。私の息子の幼い時の友達に、障害を持った方がい

らして、その方と二十年以上お付き合いしてきましたから、違和感がありませんでしたね。また、そういう方たちは純粋でいはずですから、いろいろな場面で私が反省させられることが多あります。

——ボランティアというところへはいいのですけれど「やってやるぞ」という態度でも、私自身、楽しくなかったし「やった」というだけの感じで空しく、逆に相手を傷付けるようなことにもなりかねないわけですね。でも、障害のある方と接する機会が増えて、一緒に何かをしたりしますと、本当に教えられることがたくさんあるんです。

河合さん 共生の場がもっと増えるといいですね。ロビーコンサートにしましても、チャリティーコンサートにしましても、たまたま演奏家の方たちのご協力が得られますので、無理をいいながらも、状況を理解していただき出演して



いただいています。ですから、こちらも機会があれば、出演された演奏家の方に出来るだけの協力をしています。お互いが楽しくできることが何よりもうれしいことなんです。

——いい人間関係というのは、どういう立場であつても「お互いさま」なんです。河合さんは大変にエネルギーが豊富でありながら、ゆったりと優雅にいらつしやるのは、いい人間関係を築きながらいらつしやるからなんです。河合さんのこれからの夢をお聞かせいただけますか。

河合さん いっぱいありますが、音楽に関しては、この地域を含めて優秀な若い人たちがいっぱいいますので、演奏の場を年に二回くらい企画して、皆さんに広く聴いていただきたいと思います。そして、一人でも多くの若い方が、一流の

演奏家として巣立つお手伝いができたらいいな、と思っています。

——川崎には多くの優秀な音楽家がいらつしやいます。でも不思議なことに、個人での活動が主で、横のつながりが少ないように思います。

河合さん その通りですね。九七年秋に、ろうきん主催のコンサートが麻生区の小学校の体育館でありましたが、表情豊かに弾いていらつしやる若い方々がいました。聴きに來られたご近所の方々も演奏の良さを満喫していました。

今後、たくさんの方々が応援して下さるといいと思います。また、二、三百人くらいの小ホールができたかと願っています。松実健太さんは、川崎の人ではありませんが、第二の松実健太さんみたいな人が現れるといいと思っています。

——夢を実現させるためにも、お元気で活躍ください。私も障害のある人たちとどういにかかわり方ができるのか、考えてみたいと思います。今日は、ほんとうにありがとうございました。

題字は高橋清・川崎市長

構成／富樫恭子

文責／田中 閑

若手音楽家の育成・支援に

小ホールつくって

演奏機会を増やすため

はりきってます グループ紹介

仲間と楽しむ 学び 活動する 生き生きと。



200色から色選び 柔らかな感触が魅力

ヨウタン、カラスウリ、陶器のネコなど十数種類。会員は自分のイメージに合ったモチーフを選び、描く位置を決め、約二百色のパステルを使って、凹凸のある画用紙に「思いの世界」を託す。

ピエロの輪郭を素早く描く女性。下絵をせず、いきなりホオズキの実から描く人。緑や黄色のパステルを横に倒し、紙全体に薄く色を重ね塗りしバックから描く人など。ザクロの実を描く会員は、その立体感を出そうと赤系だけでも八色も使う。どの会員も微妙に異なる十色以上のパステルを手際よく

選び、重ね塗りしてモチーフのイメージに近付ける。パステルの先端を使い繊細な線を重ねると絵に深みが増す。杵刈やすお・現代パステル協会審査委員が「光を木ワイトで入れると効果的になります」と助言して歩く。

一時間後、作品が完成。花瓶に生けたススキを主題に、バックの夜空に月をあしらった作品。ほかの技法を使わず、線のみで表現したピエロタン。会員たちは「おもしろいなブドウ。かぶりつきたいくらい」と和やかに感想を述べ合う。

年一回、人物を描き、デッサン力を高め質感を磨く。また、春と秋に野外で写生を行う。毎年、麻生市民ギャラリーでの「作品展」で市民の高い評価を受けている。会の発足は五年前。同館の成人学校受講者有志が集まった。

平井通夫さん(70)は「上手、下手より楽しんでいきます。絵を描いている時は夢中です」と笑顔。子育て中の福島裕子さん(35)は「絵を描いている時は家庭を忘れ、絵に没頭できる貴重な時間です」とにっこり。

飯村由美子さん(54)は「パステル画は、修整が利くので失敗を恐れずに描け、重ね塗りして、変化に富んだ色の発見も魅力です」。岸本律子さん(62)は「会員の感性から刺激を受けます。風景を眺めるとき、光、構図を意識するようになりました」と目を輝かす。

飯ヶ谷代表は「麻生は、芸術のまち。車いすや子連れで気軽に行け、常設的に作品展が開けるギャラリーが欲しい」と話す。

同代表宅は、麻生区金程四の一九のー、☎(953)88837。

文 / 小誌・山本綾子
カメラ / 小誌・菅原純子

200色の花、果物を表現する

パステル画研究会 (麻生区)

二百色のパステルを巧みに持ち替え、季節の花や果物などの絵を表現するのは「パステル画研究会」飯ヶ谷知江子代表ら三十人。毎月第一・二金曜の午前、麻生市民館でパステル画独特の技法で春夏秋冬の世界を描く。この日の例会のモチーフは、ヒ

はりきってます グループ紹介

心に響くハーモニ一の

津田山福寿会コーラス部 (高津区)

JR津田山駅近くを流れる平瀬川のほとりからポップスのコーラスが聞こえてくる。この心に響くハーモニーは「津田山福寿会コーラス部」村田光弥代表(81)ら二十九人。練習は毎週水曜日午前十時から、津田山町内会館で行われる。地元に住む声楽家、金星があるさん(48)の指導は、平均年齢七十五歳の各部員を楽しく歌い続けさせる。レパートリーは唱歌から歌謡曲、ポップス、ウエスタなど七十曲と幅広い。

この日は、翌月の演奏会に備えるの練習。指揮を執る金星さんの手に全員の視線が集まる。メンバーの田中八重子さん(77)のピアノ伴奏に合わせて力強く歌い出す。一曲ごとに、音程が不安定なところや言葉が不鮮明な個所が指摘され練習する。ハーモニーにまとまらないうちに、パートごとに音をなぞるように歌う。「出だしがそろいませんね。遅れないように、イチ、

ニ、「ハイ」と金星さん。「はい、もう一度」が繰り返される。あちこちからため息が漏れる。OKが出されると「ほーっ」と安ど感いっ

ばいの笑顔になる。各人の譜面には、印や細かい注意がびっしりと書き込まれている。ルイ・アームストロングの「このすばらしい世界」は部員の小倉昇さん(62)がラブバラード風に訳した。「もつと感情を込めて。新婚時代を思い出して歌いましょう」のアドバイスに照れる男性も。グレン・ミラーの「茶色の小瓶」

の軽やかなメロディに詞をつけた「福寿会コーラス部CMソング」を歌うころには、体全体がリズムに揺れ動き、目も輝きを増す。同会の誕生は七年前。地域の老人クラブ、福寿会が「健康で心豊かに仲間と交流するには、どんなサークルをのぞむか」を会員に聞いたところ、コーラス部の要望が多く発足させた。

創立時からの指導者、金星さんは「皆さん熱心で、高出席率です。なじみの薄い曲にも意欲的に取り組んでいます」と感心する。奥村ナルさん(70)は「体調の悪い時でも歌っているうちに元気になります」と笑顔。

山本巖さん(78)は「以前は音楽を聴いただけだったが、みんなで歌う楽しさを知った。でも私たちを教える先生は大変」と微笑。

村田代表は「男性部員をもっと増やしたい。過去の肩書きにこだわらず、一歩踏み出すと思いがけない出会いがあつて、世界が広がります」と参加を呼び掛ける。

連絡は高津区下作延一九三三〇(833)3470の山本巖さん。

文 / 小誌・菅原純子
カメラ / 小誌・井上徳子

レパートリー多彩
歌う楽しさを全身で



仲間と楽しむ
学ぶ
活動する
生き生きと。

学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演

「君も聞こえるかい?」超
音波」▽2月14日(土)「知
りたいな」冷蔵庫の冷える
わけ」〓写真は前回。い

①テクニカルフォーラ
ム「高齢化社会と先端技術
②NKK市民大学講座」地
球、人、そして鉄◆市産業
振興会館」①は1月30日(金)
13時から。「明るい長寿・
福祉社会の構築をめざして」
と題し、山本隆夫・県福祉
部参事が基調講演。人とロ
ボットの共生を考える。先
着300人②は3月13日(金)13
時半から。環境保全技術、
廃プラスチック高炉一貫リ
サイクルシステムを紹介。
先着80人。いずれも無料。
申し込みは①当日直接②1
月7日(水)からはがきに住所
氏名、年齢、☎、職業を記
し〒210-0855川崎
区南渡田町の1、NKK
技術企画部管理室〓☎(3
22)6076。

①わくわく実験教室②
やさしい先端技術講座◆東
芝科学館」①は1月10日(土)
「入門手話講習会◆市南
部身体障害者福祉会館」2
月18日〜3月25日の毎週水
曜18時半から、全6回。教



材料のみ735円。30人
(抽選)。申し込みは2月
6日(金)までに往復はがきに
住所、氏名、年齢、☎を記
し〒210-0834川崎
区大島1の8の6、同館。
☎(244)3971。
「講習会①日本サクラソ
ウの鉢作り②盆栽の手入れ
◆市緑化センター」①は2
月6日(金)、教材費500円②
は3月11日(水)。無料。い
ずれも13時半から。各30人
(抽選)。申し込みは①が
1月23日(金)②が2月27日
(金)までに往復はがき(1人
1枚)に講習会名、住所、
氏名、☎を記し〒214-
0021多摩区宿河原6の
14の1、同センター。☎
(911)2177。

「ぶきつちよさんの「お
しゃれベスト」作り◆登戸
ドレスメーカー学院」1月
31日(土)2月1日(日)7日(土)13
時半から。表裏両面仕立て
のオリジナル品作り。受講
料は各回千円。先着各15人
材料持参。申し込みは午前

中に☎(911)2221
の同院。向ヶ丘遊園駅下車
。「川崎いのちの電話」共
通研修」◆中原市民館ほか
武蔵小杉駅周辺」3月4日
〜4月1日の毎週水曜18時
45分から、全5回。ポラン
ティア論、人間理解の基礎
講義など。対象は20歳以上
受講料5千円。申し込みは
所定の申込書に必要事項を
記し、1月15日(祝)〜2月14
日(土)にのちの電話事務局
へ郵送。同研修に4回以上
出席者の「相談ボランティア
ア(電話相談員)養成研修」
あり。募集要項は各市民館
・図書館・区役所で配布中。
問い合わせは☎(4334)
0253の同事務局。

「市民健康セミナー」白
内障手術について◆市中小
企業・婦人会館」2月28日
(土)14時から。橋本武光・聖
マリアンナ医科大学東横病院
眼科副部長が講演。無料。
150人。相談コーナーあ
り。当日直接来館。問い合
わせは☎(722)212

市外局番のないものは044

学習・文化情報

1内線5222の同院総務課
。「児童文学を通して見る
北欧文化◆玉川大学」1月
24日〜3月28日の第2・4
土曜13時半から、全5回。
ムーミン、人魚姫などの代
表作を題材に。講師は山内
清子さん。受講料1万5千
円。申し込みは☎0427
(39)8895の同大学継
続学習センター。玉川学園
前駅下車。
「歴史講演会」築堤運動
から見る多摩川と川崎◆市
公文書館」3月7日(土)14時
から。川崎を水害から守つ
たアミガサ事件と有吉堤に
ついて長島保・区史研究会
代表が話す。無料。40人
(抽選)。申し込みは2月
13日(金)までに往復はがきに
住所、氏名、年齢、職業、
☎を記し〒211-0005
1中原区宮内4の1の1、
同館・同講演会係。☎(7
33)3933。
「紛争地の子どもたち」
長倉洋海講演会◆麻生市民
館」1月17日(土)14時から。

学習・文化情報

参加したい催しがある

長倉さんは世界の紛争地の子供達を写したフォトジャーナリスト。無料。先着2百人。同日から21日(水)、同館ギャラリーで写真展を開く。講演会の申し込みは☎(951)1300の同館。

〔読書普及講演会◆麻生市民館〕3月1日(日)14時から。「自作を語る『スキップ』『ターンの時間論』と題し、作家の北村薫さんが講演。無料。先着3百人。申し込みは1月10日(土)9時半から☎(951)1305の麻生図書館。

〔講習会①拡大写本②手



話夜間入門◆市中部身体障害者福祉会館①は2月5日(土)3月19日の毎週木曜10時から、全7回。教材費のみ700円。20人(抽選)②は2月17日(土)3月24日の毎週火曜18時半から、全6回。教材費のみ300円。40人(抽選)。申し込みは①が1月24日(土)②が2月7日(土)までに往復はがきに講習会名、住所、氏名、年齢、☎を記し〒211-0068中原区小杉御殿町2-1-4の1、同館。☎(733)9675。

代300円(保険料含む)。弁当持参。問い合わせは☎(951)1300の同館。

〔ミニミニグライダーを作ろう◆東芝科学館〕2月1日(日)3月15日(日)、工作コーナー開設。無料。対象は幼児。直接来館。問い合わせは☎(549)2200の同館。川崎駅からバス。

〔職員によるトーク・建物とくらし◆日本民家園〕2月20日(金)13時半、原家集合。茅葺き屋根について。

無料(要入園料)。当日直接来園。問い合わせは☎(922)2181の同園。

〔ダンスパーティー◆川崎市民プラザ〕2月21日(土)18時半。出演はKBLニューコーカス。入場料2千円。1月2日(金)9時よりプラザフロントで発売。定員2百人。問い合わせは☎(888)3131の同プラザ。

〔1星を見る夕べ②天体写真撮影会◆市青少年科学館〕①は1月10、17日(土)17時半、月・土星を観望。雨曇り時はプラネタリウムで星の話②は2月22日(日)9時、太陽を撮影。雨天中止。持参品あり。定員14人。いずれも無料。申し込みは①当日直接来館②1月25日(日)9時から☎(922)4731の同館。

〔ミニ観察会◆生田緑地〕1月17日(土)9時から、野鳥を観察。無料。持参品あり。開始10分前に同緑地東口駐車場に集合。雨天中止。問い合わせは☎(922)4731の市青少年科学館。

〔市青少年フェスティバルの①当日運営スタッフと

②フリーマーケット出店者募集◆等々力緑地〕3月22日(日)10時(16時)①はどろきアリーナで行うゲーム、工作、スポーツの運営に協力者を募集。高校生以上②は等々力緑地内催物広場。出店予定数は百店(抽選)。出店料は千円。申し込みは①は1月30日(金)までに☎(200)2669の同実行委②は1月16日(金)までに往復はがきに、住所、氏名、年齢、☎、出店内容と返信用はがきに宛名を記し、〒210川崎区宮本町1市市民局青少年育成課同実行委。

〔マリエンシネマクラブ◆川崎マリエン〕1月25日(日)14時。英、仏、独合作映画「ピノキオ」(日本語吹き替え版)上映。無料。当日先着3百人。問い合わせは☎(287)6009の川崎港振興協会。

〔工作教室◆麻生市民館〕2月8日(日)13時、簡単にできる人形「のぼるゴン太くん」を紙で作る。対象は5歳(小学校低学年(幼児は要保護者))。40人。材料費50円。申し込みは1月25日

(日)10時より同館。問い合わせは☎(951)1300。

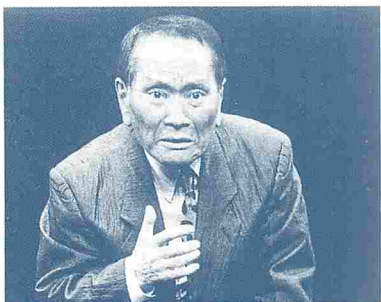
〔新春創作教室①料理②ツールペイント③はた織り④パッチワーク◆市青少年創作センター〕①は2月8日(日)14日(土)28日(土)9時半、全4回。対象は小・中学生。30人。教材費2千円②は2月8日(日)14日(土)22日(日)28日(土)13時半、全4回。対象は小・中学生。30人。教材費2千円③は2月6(土)20日毎週金曜10時、全3回。対象は成人。10人。受講料千円。教材費千円④は2月5(土)26日毎週木曜9時半、全4回。対象は成人。30人。受講料2千円。教材費千500円。申し込みは1月22日(日)までに、往復はがきに希望教室名、〒、住所、氏名、性別、小中学生は学校名、学年を記し〒214多摩区三田2の3303の1、同センター。問い合わせは☎(911)1510。



〔莊村清志ギターリサイタル◆糀ホール〕2月18日

学習・文化情報

みたい絵がある



「マルセ太郎」スクリーンのない映画館 ◆川崎能楽堂 2月21日(土)14時開演、黒澤明監督の映画「生きる」をパントマイムと話芸で再現する。写真。全自由席3千円。詳細は☎(222)8821の市文化財団。



(水)19時開演。マラツ「スペイン・セレナーデ」▽武満徹「オーバー・ザ・レイン

ボー」他。写真。4千円。詳細は☎(812)6090。溝ノ口駅下車。

「川崎いのちの電話チャリティコンサート」エポックなからはら 3月13日(金)18時半開演。出演は河島英五「晩秋」「酒と泪と男と女」ほか。全自由席3千5百円。問い合わせは☎(434)0253の同事務局。

①サカモトミュージックスクール新春研究発表会 ②ジュニア発表会 ◆川崎市民プラザ ①は1月11日(日)15日(水)2月1日(日)11時開演。中学生以上の声楽、器楽の発表。②は2月8日(日)11時開演。小学生以下の発表。入場無料(整理券は必要)。問い合わせは☎(854)6581の同スクール。

「ぼくにもできるかな人形劇場◆麻生市民館」2月8日(日)11時と14時45分。人形劇団「井村淳と仲間たち」の愉快なドラマ。対象は2歳以上、小学生と保護者。各回2百人。無料。申し込みは1月25日(日)10時より同館で整理券配布。問い合わせは☎(951)1300の同館。

①新春初笑い寄席②映画劇場「ザ・エージェント」 ◆川崎市民プラザ ①は1月17日(土)18時開演。出演は

ギャラリー

「ギャラリー幸」1月9日(金)~21日(水)、新春ミニ展。はがき大以下のミニサイズの絵画や工芸品の展示。即売会▽1月23日(金)~2月4日(水)、常設展。昨年の展示品からの選出品▽2月6日(金)~18日(水)、花の展。春にさきがけ絵画や押し花を展示。木曜休廊。☎(555)8181。川崎駅西口下車。

「アートガーデンかわさき」1月22日(水)~2月8日

立川志の輔。写真右。立川志かく、三笑亭夢之助ほか。5百人。当日2千円、前売り千8百円②は2月7日(土)11時と16時。無料。当日先着順。各回5百人。問い合わせは☎(888)3131の同プラザ。

(日)、EGO-SITE展。沖縄県出身の現代美術作家らの立体造形や絵画作品を日本ではじめて本格的に紹介する。グラミー賞シンポルアーティストの幸地学、能勢孝二郎、栗国久直、上原一明、真喜志奈美。大人3百円、高、大学生2百円、中学生以下無料。問い合わせは☎(222)8821の市文化財団。

「川崎駅地下街アゼリア」2月9日(月)~22日(日)、写真展「古民家の光と陰」小池汪の日本民家園の作品。無



料。問い合わせは☎(922)2181の日本民家園。

「画廊ランブ屋」1月16日(金)~31日(土)、常設展。版画、油彩、日本画、立体造形などランブ屋コレクション▽2月12日(水)~28日(土)、山中現の木版画展。国際的に活躍している若手作家。淡い色調で、安らぎを与える作品35点。月、火曜休廊。☎(945)4416。稲田堤駅下車。

「スナック喫茶琴」1月31日(土)まで、新婦人鹿島田グループ「絵手紙」展▽1月31日(土)~2月14日(土)、佐藤繁納、福岡信吉「写真八景」展▽2月14日(土)~28日(土)、峰俳句会「俳句」展。問い合わせは☎(544)0507。鹿島田駅下車。

「バドミントン初級◆スポーツセンター」1月14日~3月25日の毎週水曜10時から、全10回。4千円(教材費別に2千円)。15歳以上、30人(抽選)。申し込みは1月7日(水)10時に

スポーツ

学習・文化情報

やりたいスポーツがある

直接来館。問い合わせは ☎ (555) 3011。

〔1〕太極拳入門②パドミントン入門 ◆麻生スポーツセンター ①は1月14日、3月25日の毎週水曜10時から、全10回。4千円。申し込みは1月7日(水)10時に直接来館②は1月22日、3月26日の毎週木曜10時から、全10回。4千円(教材費別に2千円)。申し込みは1月8日(木)10時に直接来館。

〔抽選〕。問い合わせは ☎ (951) 1234。

〔1〕太極拳入門②テニス初級 ◆市体育館 ①は1月22日、3月26日の毎週木曜14時から、全10回。4千円。申し込みは1月8日(木)14時に直接来館②は1月22日、3月26日の毎週木曜18時から、全10回。4千円(教材費別に2千5百円)。申し込みは1月8日(木)18時半に直接来館。いずれも15歳以上、40人(抽選)。問い合わせは ☎ (200) 3215。

〔1〕シルバースポーツ教室②親子スポーツ教室 ◆市

体育館 ①は1月14日、3月25日の毎週水曜13時半と15時、各全10回。1回120円。おむね55歳以上、各40人(抽選)。申し込みは1月7日(水)14時に直接来館②は1月20日、3月24日の毎週火曜9時半と10時45分、各全10回。各3千円。3、4歳児と保護者の各40組(抽選)。申し込みは1月13日(火)11時に直接来館。問い合わせは ☎ (200) 3255。

〔1〕バスケットボール②ジャズ体操 ◆とどろきアリーナ ①は1月20日、3月24日の毎週火曜18時45分から、全10回。申し込みは1月8日(木)18時45分に直接来館②は1月23日、3月27日の毎週金曜13時半から、全10回。申し込みは1月9日(金)13時半に直接来館。いずれも4千円。15歳以上、40人(抽選)。問い合わせは ☎ (798) 5000。

〔1〕はつらつ健康体操②親子ピクス ◆とどろきアリーナ ①は1月22日、3月26日の毎週木曜13時半から、全10回。4千円。おむね

60歳以上、40人(抽選)。申し込みは1月8日(木)13時半に直接来館②は1月22日、3月26日の毎週木曜15時半から、全10回。3千円。5、6歳児と保護者の30組(抽選)。申し込みは1月8日(木)15時半に直接来館。問い合わせは ☎ (798) 5000。

〔武道演武会 ◆石川記念武道館〕 3月1日(日)13時、16時半。剣道、柔道、空手、合気道、なぎなた、少林寺拳法など、日ごろの成果を披露。見学無料。問い合わせは ☎ (544) 0493。

〔フォークダンス入門教室 ◆サンライフ川崎〕 3月5日、26日の毎週木曜14時から、全4回。講師は打矢悦子さん。受講料1580円。定員先着30人。申し込みは2月17日(火)から ☎ (344) 1777の同所。月曜休館。京急八丁駅下車。〔社交ダンス特別講習会 ◆川崎市民プラザ〕 2月21日(土)13時、16時、ルンバ、ワルツを基礎から学ぶ。受講料3千円。先着男女各25人。申し込みは1月21日(水)

に直接来館。 ☎ (888) 3131。

お知らせ 小誌の次回発行は3月号で、学習・文化情報の原稿締め切りは1月30日(金)です。

12月号学習・文化情報欄のおわび 11ページ「中級写真講座」のなかの「現象」は「現像」に、12ページ「冬休みイベント」の中の①の項の「要予約」は「事前に申し込み」に、②の項の「先着順」は「当日先着各回40人」とします。また③、④の項の「先着」の前に「当日」を挿入します。誤字、言葉足らずなどをおわびします。

田島地区に生きる 下町人情に感激 先日的小誌スタッフ会議で「各人が、地域にどんな人がいて、どんなことをしているかを知ろう」と分担を決めた。川崎区田島地区にある県川崎愛泉ホームを訪れたのはY。竹内啓也・

主幹や他の職員が、温かく親切に有意義な情報教えてくれた。同ホームを出ると外は真つ暗。Yが、バス停までの道に自信がなく、玄関で遊んでいた2人の男子児童に聞くと、「いま車が止まっている信号を右に曲がって……。大きい道路に出たら、向こうに渡っちゃだめだよ」と手振りを見せて説明。Yが「サンキュー」とユーモアを込めてお礼をいうと「バイバイ」と笑顔で見送ってくれた。下町の人情と優しさを忘れ掛けていた親切心に触れた思いの半日だった。

斎藤雅広氏を招き 麻生フィル演奏会 麻生フィルハーモニー管弦楽団の第26回定期演奏会が、11月上旬、麻生文化センターであり、客席を埋め尽くした市民は、質の高いオーケストラの迫力を心から楽しんだ。今回は、ピアノリストに引き、ラフマニノフの最高傑作の「ピアノ協奏曲第2番」やブラームスの「交響曲第3番」など3



田島地区に生きる 下町人情に感激

先日的小誌スタッフ会議で「各人が、地域にどんな人がいて、どんなことをしているかを知ろう」と分担を決めた。川崎区田島地区にある県川崎愛泉ホームを訪れたのはY。竹内啓也・

主幹や他の職員が、温かく親切に有意義な情報教えてくれた。同ホームを出ると外は真つ暗。Yが、バス停までの道に自信がなく、玄関で遊んでいた2人の男子児童に聞くと、「いま車が止まっている信号を右に曲がって……。大きい道路に出たら、向こうに渡っちゃだめだよ」と手振りを見せて説明。Yが「サンキュー」とユーモアを込めてお礼をいうと「バイバイ」と笑顔で見送ってくれた。下町の人情と優しさを忘れ掛けていた親切心に触れた思いの半日だった。

斎藤雅広氏を招き 麻生フィル演奏会 麻生フィルハーモニー管弦楽団の第26回定期演奏会が、11月上旬、麻生文化センターであり、客席を埋め尽くした市民は、質の高いオーケストラの迫力を心から楽しんだ。今回は、ピアノリストに引き、ラフマニノフの最高傑作の「ピアノ協奏曲第2番」やブラームスの「交響曲第3番」など3

曲を演奏した。「ピアノ協奏曲第2番」では、鍵盤の低音から高音を魔法がかかったような指で滑らかに響かせ、情熱的な主題がピアノからオケへ移る。斎藤さんの演奏時の表情も魅力的。左足で床を踏み付けて激しさを表現。優雅な旋律のときは、にこやかな表情になり、しなやかに指が動く。指揮は東京ユニバーサル・フィル音楽監督、常任指揮者の三石精一さんと、ピアノ独奏とオケのバランスの良さを最大限引き出していた(Y)。

高津で打楽器、室内楽、合唱の演奏会

晩秋の高津市民館大ホールで「秋のコンサート」があった。洗足学園大学卒業生6人の「イストーリア」は、手のひらで体全体をたたき、異なるリズム、音の強弱を巧みに表現した。また、白山中出身者の「フレッシュアンサンブルかわさき」によるシューベルト「ピアノ三重奏小ソナタ変ロ長調」は、バイオリンとチェロの弦の温かな音色



とピアノが溶け込み心に響く。写真。県立多摩高校合唱部の男性・女性部員たちは、客席まで広がって歌った。童謡や唱歌をメドレーにした「ふるさとの四季」は、間近で歌う部員たちと一緒に口ずさむ市民もいて、美しい日本の季節の移ろいを感じさせる透き通ったハーモニーを聴かせた。この後、テノールの五郎部俊朗さんの「この道」「月の砂漠」などの独唱があった。同コンサートは、「かわさき文化祭」の一環で、川崎音楽文化連盟の企画・運営の演奏会(Y)。

生涯学習として句集 92歳で波多野氏刊行

「卒寿とは大気の如し雑煮喰ふ」。お茶の水女子大学の学長などを務めた心理学者の波多野完治さんが、92歳で初の句集「老いのうぶ声」(小学館・2940円)を出した。1960年代にいち早く生涯教育・生涯学習の理念を日本に紹介し、その重要性を説き続けてきた波多野さん。今回の句集は自ら実践した一つの生涯学習の軌跡といえる。

波多野さんが、本格的に俳句を始めたのは、80歳。句集には、その遅い出発の時から昨年までの360余句が、収められている。「生涯学習としての俳句」という副題のついた長文の

「あとがきにかえて」で、体験に基づいた俳句の学習法をつづり、独習でやり通せるのは天才だけで、中高年からの学びは先生が必要と指摘。80歳になれば、先生は自分より若い人ばかりだと覚悟すべき、と述べている。朝日新聞11月4日付から(S)。

ポツプスを熱唱

平均年齢75歳の「津田山福寿会コーラス部」の第2回演奏会がこのほど、高津市民館の大会議室であり、「朧月夜」「夏は来ぬ」など唱歌7曲で日本の四季をしっかりと歌いあげた。

この後、ピンクのドレス、黄色のネクタイに紺のブレザーの装いで登場。ピアノやドラム、エレキギター、フルートの伴奏に合わせて「コンドルは飛んで行く」「エデンの東」「カントリロード」などのポツプス14曲を熱唱した。「オブラディ・オブラダ」の時には、男性が手品師のようにポケットから花を出して女性に捧げ会場を沸かせた(S)。

子供をダメにした “覚える場の学校”

宮前区の平こども文化センターで、このほど「超学校」と題し教育研究家の村田栄一さんの講演があった。村田さんは「本来、子供が学ぶ場所である学校が、教えられたことを覚える場所になった。成績とは能

力の係数ではなく、従順度の係数」と述べ、学校でよく出来る子供が社会に出て脱落する状況もあって、教育改革へと文部省も動きだしていると話した。また、勉強を強制せず、子供が生まれつき持っている好奇心を信頼し、やりたいことを徹底させる教育をしている、米国サドベリーバレー校の様子をビデオで紹介した。サ校にはカリキュラムも学年もなく「本来、子供にある好奇心や集中力の信頼がベースになっている。日本の教育は『子どもは強要しなければ何もしない』との不信感が前提。子供の学びに中心をおいた発想を」と話した(S)。

編集チームから「ステージ・アップ」3月号の本欄の原稿締め切りは1月30日(金)必着です。原稿は個条書きで結構です。掲載する原稿は、編集チームでつくりましますので、必ず問い合わせ先をお書き下さい。「読者の声」の投稿もお待ちしております。

9コース21講座から選べる

かわさき市民アカデミーの会員募集

◆かわさき市民アカデミーの特徴は？ ①継続して専攻コースで学べる②演習によって掘り下げて学べる③出会いのよろこびがある。

◆講師の顔ぶれは？ 各分野で活躍中の第一線級の先生方です。

◆入会の資格は？ 試験はありません。18歳以上の方ならどなたでも入会できます。

◆修学期間は？ 修学期間は2年間。半年ずつの学期が4学期、1学期は15週です。会員になると5年間いろいろな特典が受けられます。

◆4月から始まるコースは？ 9コース21講座を予定しています。1学期は4月6日(月)～7月18日(土)です。

かわさき市民アカデミーは、市民が「学び合い高め合う」ことで活力ある地域社会の創造に貢献することを願って1993年に誕生しました。

集う！学ぶ！楽しさ実感
出会いのよろこびをあなたも

募集要項

■講座・演習 3系・9コース

【研究系】人間学コース／政治・国際関係コース／経済と環境コース

【表現系】文学コース／美術コース／ことばと映像コース

【生活系】高齢者福祉コース／居住福祉コース／みどり学コース

■募集定員 各コース20人

■費用 ①入会金2万円(市内在住・在勤者以外は3万円)。会員期間は5年間②受講料は専攻コースの講座と演習で1学期1万円。選択講座は1講座5千円③入会金と第1学期の受講料は入会時に一括納入④教材・資料代などは別途自己負担

■申し込み方法 「入会案内」パン

フレットの添付はがきに必要事項を記入し切手をはって申し込む

■応募期間 2月2日(月)～2月15日(日)まで。当日消印有効

■入会案内パンフレット 1月下旬から各区役所・市民館・図書館・スポーツセンター、教育文化会館、中小企業・婦人会館、生涯学習振興事業団などで配布

■結果のお知らせ 応募者が定員を超えた場合は抽選。入会の可否は2月20日(金)ごろまでに事務局から応募者宅に郵送

■問い合わせ 9時～17時 ☎044(422)3932のかわさき市民アカデミー事務局(日・祝日は休み)

編集後記

今回は、スタッフ一人一人の「新年のごあいさつ」もどき?▼新春号「いまを話す」のゲストはずーっと女性▼今号の河合由里子さんは、日本フィルの木野雅之さんとは、七年前のロンドンアンサンブル日本公演以来のお付き合い▼その木野さんが、河合さんが小誌に出ると知り、編集チームにメッセージを寄せて下さった▼木野さんは、河合さんの魅力について、普段は控えめだが「鋭い洞察力、並々ならぬ行動力」があり「分けへだてなく気を配る心の広い方」といい、「相談相手として慕われる」一方、「分からないことは素直に頼ったりするかわいい人」と記している▼今日まで「すてきなかわさきの女性」をたくさんご紹介できたことを喜んでる(田中)▼小誌の読者だった私が「書く側」に転換したのは昨年五月▼不惑の年からのライター修行となった私に、編集人は「原稿をたくさん書け、恥をかけ」と発破をかける▼「グループ紹介」の取材で、「年齢は宝石」と感じさせる人達に多く出会い、元氣と勇氣をいただいで意気揚々と帰るが、産みの苦しみが待っている▼文章を書くことがこんなに難しいとは思わなかった▼さ

て、今年は待ちの姿勢ではなく、自ら戸をたたき、わずかでも歩を踏み出そうと思う▼「天地これ師なり、事物これ師なり」の心を持って(菅原)▼昨年、日本人宇宙飛行士、土井隆雄さん(43)が船外活動をしたが、国際宇宙ステーションの完成は、手塚治虫の「鉄腕アトム」が誕生する二〇〇三年▼少年時代に人類の月面着陸を見た土井さんが、宇宙基地の実現に貢献しているわけだ▼アニメの夢の世界と現実の宇宙とが接近、二一世紀はだれもが宇宙に行けるとの期待が膨らむ▼一方、現実の日本社会の情報はネガティブなことが多い▼だが、「グループ紹介」の取材などで、市民のいい笑顔に会えるので、今年も前向きに「元氣の出るかわさきのニュース」を探したい(井上)▼昨年、取材先で出会った方は、みなさんゴールデン・エイジと思つた▼実際の年齢よりも若々しい楽道家で行動派▼小誌に掲載後、取材させていただいた方やグループからの「ありがとう」の言葉にどれだけ励まされたことか▼今年には「自分なりに考え提案する」ことを基本に行動し「あなたはあなた、私は私」(九四年九月号「いまを話す」の西村美東士さん)と、他者も自分も、もっと尊重される一年になることを願っている(山本)。

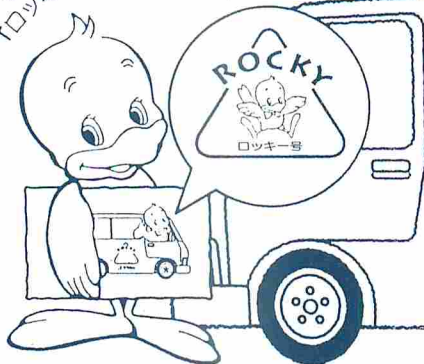
新登場

ふれ愛サポート

定期預金 ロッキー

みんなの街に介護カー「ロッキー号」を走らせよう!

みなさまよりお預りした資金を活用し、1999年より介護カー「ロッキー号」を購入。かながわボランティアセンターを通じて、県内の福祉団体等に寄贈していきます。



ふれ愛サポート定期預金「ロッキー」の内容

お預入れ期間	金額
1年	50,000円以上
定期預金の種類	金利
スーパー定期(300)、大口定期	通常の店頭表示金利でお預かりします。

★お問い合わせ・ご相談は、お近くの神奈川県労働金庫<ろうきん>へどうぞ。

川崎支店 ☎044(244)8331

中原支店 ☎044(733)0161

川崎南支店 ☎044(277)8211

新百合丘支店 ☎044(989)1111

●発行 (財)川崎市生涯学習振興事業団
電話 044(952)5000代
〒215 川崎市麻生区万福寺一の二の二、新百合21ビル
FAX 044(952)1350 編集人・田中 園